

## なごや環境大学 共育講座 募集要項(市民・市民団体)

### 1 共育講座募集の目的

なごや環境大学では「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ（共育）」ことを目的として活動しています。

一人ひとりが地球環境問題を自分のこととして受け止め、「環境」をキーワードとしてひとりでも多くの方々に持続可能な社会や地域を考えるきっかけが必要です。共に学び、育ちあうための環境講座の応募をお待ちしております。

### 2 募集講座

#### (1) 講座内容

テーマ	「身近な環境」から「地球環境」まで、環境に関する幅広い分野
受講対象	名古屋市内に在住/在勤/在学/活動中の方をはじめ、「環境」に関心がある方 (子どもから大人まで)
講座開催場所	名古屋市内およびその周辺（屋内・屋外を問いません。）
開催期間	2019年4月～2019年9月の間
講座形態	座学、フィールドワーク(体験/観察/調査など)、討論会、ワークショップなど講座形式不問
講座回数	一般枠：1講座2コマ(回)以上 フレッシュ枠：1講座1コマ以上(1コマでも可)
講座時間	講座1コマ(回)あたり90～120分程度を基本とする。
定員	講座1コマ(回)あたり20名以上を目安とする。 ※できるだけ多くの方に参加してもらえようをお願いいたします。

#### (2) 応募区分

応募区分	内容	募集講座数
一般枠	以下の7つの分野から、メインとなる1つを選択してください。 ①低炭素(エネルギー・気候変動) ②自然共生(生物多様性・気象・自然体験) ③資源循環(3R・ごみ問題・産業廃棄物) ④健康安全(食・くらし・防災) ⑤まちづくり(コンパクトシティ・交通・水) ⑥国際協力・多文化共生 ⑦人づくり(人材育成・スキルアップ)	25講座程度
フレッシュ枠	なごや環境大学共育講座の実施が初めてまたは2度目の団体	10講座程度

### 3 実行委員会負担金(「なごや環境大学」実行委員会が負担する経費)

共育講座は、その趣旨に賛同する市民・市民団体が企画や問題意識を持ち寄り、なごや環境大学と協働して運営しています。その講座開催経費の一部を、なごや環境大学実行委員会負担金として支給します。

各講座へ負担する実行委員会負担金の額は、応募者からの申請に基づき実行委員会において選考を行い、決定します。また採択する応募者数は「なごや環境大学」実行委員会の全体予算に基づき決定します。

対象経費	共育講座の企画・運営及び報告にかかる経費のうち、実行委員会が対象と定めるもの ※詳細は別紙「実行委員会の負担額について」参照
実行委員会負担金	講座1コマ(回)当たり必要経費のうち上限30,000円 ※ただし、1講座につき上限100,000円まで
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金は、採択が決定され、規定の書類を提出いただいた後、速やかにお支払いします。</li> <li>・対象経費が、実行委員会負担金を含む収入を下回る場合は、実行委員会への返納の義務が生じます。</li> </ul>

#### 4 応募要件

以下の要件をすべて満たす応募者

- (1) 「なごや環境大学」の趣旨に賛同し、「行動する市民・協働する市民」を共に育むパートナーになっていただくこと。
  - (2) 市民の自主的な参加による、自発的で営利を目的としない公益性を有する活動を行っていること。
    - ・市民団体は、法人格の有無は問いません。
    - ・複数の市民団体等がグループで応募することもできます。その際は、責任主体を明確にしてください。
  - (3) 過去1年以上にわたり継続して活動に取り組んでおり、企画立案から実施まで主体的に取り組むことができる団体/グループであること。

※ただし、フレッシュ卒での応募はこの限りではありません。個人の方はご相談ください。
  - (4) 政治活動や宗教活動、営利活動を目的としないこと。

(特定の商品PRのための活動ではないこと)
  - (5) 特定の国、団体、個人、企業に対し、違法・不当な誹謗、中傷を行わないこと。
  - (6) 講座終了後の報告書類の提出をはじめ、実行委員会が定める規則等を遵守すること。
  - (7) 講座運営にかかわる事務手続き説明会に原則出席すること。(会場までの交通費は自己負担となります)
- ※バスツアー等を企画される場合は、旅行業法に抵触しないように十分ご注意ください。

#### 5 選考

##### (1) 選考方法

「なごや環境大学」実行委員会による書類審査を実施し、応募区分ごとに講座を選考します。なお、審査の内容詳細につきましては公表いたしません。

##### (2) 選考基準

項目	内容
企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なごや環境大学が求めるテーマに適合するか</li> <li>・募集する講座内容と応募区分に合致しているか</li> <li>・「名古屋市環境基本計画」での目標である「環境首都なごや」を実現することにつながるテーマか</li> </ul> <p><a href="http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-23-2-0-0-0-0-0-0.html">http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-23-2-0-0-0-0-0-0.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の目的を達成するための組み立てか、対象やコマ数が適切か</li> <li>・講座終了後の受講生に何を持ち帰ってもらうか、ねらいが明確か</li> <li>・安全かつ円滑に行なえる内容か</li> </ul>
協働・共育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の協働・共育につながる内容となっているか</li> <li>・なごや環境大学と目的を共にして協働できるか</li> </ul>

工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しさや受講生をひきつける工夫がなされているか</li> <li>・市民ニーズがあるか</li> <li>・楽しく学べる、興味をもって参加できる内容か</li> <li>・名古屋市外での講座企画の場合、名古屋市民の参加などが考慮されているか</li> </ul>
収支	収支予算は妥当か
その他 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募要件を満たしていない場合は、審査対象外となります。</li> <li>・講座受講生は、絶えず新しい受講生を期待します。過去から前の期の実績において受講生の固定化が見られた場合は、不採択となることがあります。</li> <li>・過去から前の期の実績において大きく募集定員を割り続けた場合は、不採択になることがあります。</li> <li>・審査後に講座内容を大きく変更される場合などは、必ず事前に事務局へご相談ください。規定を守っていただけない場合、決定を取り消す場合があります。</li> <li>・講座終了後の報告書類を提出いただけない場合、次期から審査対象外となります。</li> </ul>

※第3次名古屋市環境基本計画の中で描く2050年を見据えた長期戦略である「水の環復活」「低炭素都市」「生物多様性」や「SDGs」※も参考にしてください。詳細は、下記のとおりです。

「水の環復活 2050 なごや戦略」<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-22-6-0-0-0-0-0-0-0.html>

「低炭素都市 2050 なごや戦略」<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-22-1-3-0-0-0-0-0.html>

「生物多様性 2050 なごや戦略」<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-22-2-1-0-0-0-0-0.html>

※SDGsは、国連が定める「持続可能な開発目標」のことです。

詳細は、国連広報センターのページをご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

・決定にあたり、講座内容の修正・収支の見直し等、一定の条件をご相談させていただく場合があります。

・「なごや環境ハンドブック」（発行：なごや環境大学実行委員会）、「ESD はじめの一步」（発行：名古屋市環境局環境企画部環境企画課）をテキストとして活用いただく講座は、選考において優先します。

「ESD はじめの一步」<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000071307.html>

### (3) 選考結果

結果通知は2018年12月中旬を予定しています。結果に関わらず、すべての応募者にご連絡致します。

## 6 応募方法

### (1) 提出書類

以下、4点の書類を提出ください。様式1～3については、なごや環境大学ウェブサイト(<https://www.n-kd.jp>)からダウンロードしてください。

- ① 様式1-1 1-2 なごや環境大学 共育講座 申請書（審査用）
- ② 様式2-1 2-2 なごや環境大学 共育講座 企画書（ガイドブックPR用）
- ③ 様式3 なごや環境大学 共育講座 収支予算書
- ④ 講座内容をアピールする写真データ 1枚ないし2枚（ファイル名を、写真の説明文（20文字以内）としてください。）

※なごや環境大学共育講座に、初めて応募する方は、①～④の他に、規約や活動内容が分かる書類を提出してください。活動実績や規約等がない場合は、ご相談ください。

## (2) 募集締切

2018年11月30日(金) 必着

## (3) 提出方法

電子メール [jimu@n-kd.jp](mailto:jimu@n-kd.jp) ※電子メールでの提出を基本とします。

※事務局で電子メールを受信した場合は、必ず受領の返信メールを送信します。送信後、3日以内に返信がない場合はお手数ですが、ご連絡ください。

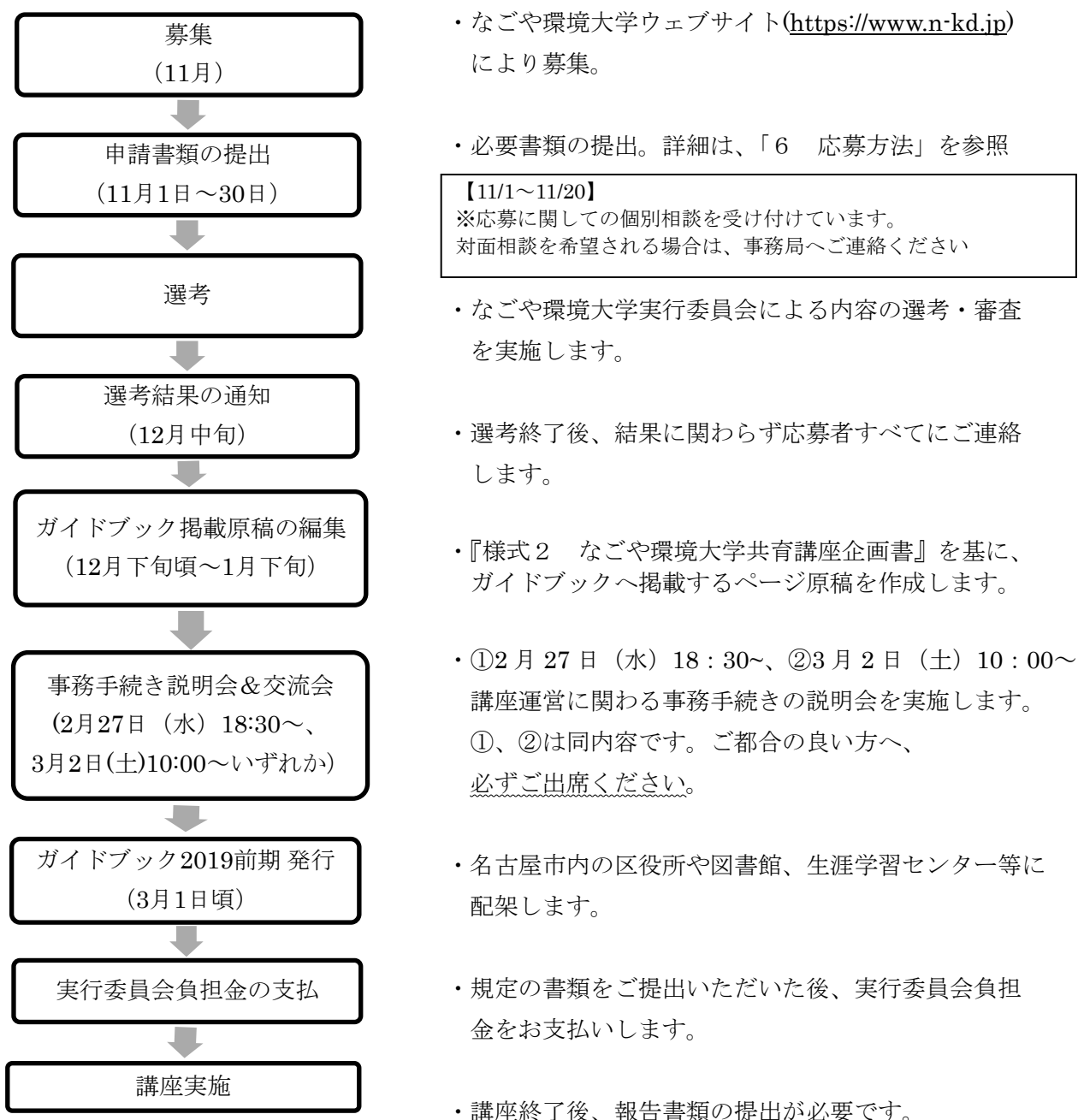
※採択が決定した場合、提出された写真は申請書の内容とともに、「なごや環境大学ガイドブック」など、なごや環境大学やそれぞれの講座のPRに使用させていただきます。

※企画・応募に伴う費用は、応募者の負担とします。

※提出書類は返還致しません。必ず控えを用意してください。

※今年度以外の様式書類での提出は無効です。

## 7 募集から講座実施までの主な流れ



## 8 事務手続き説明会&交流会

講座開催が決定した応募者は、事務手続き説明会&交流会に必ずご出席ください。(2019年2月27日(水)18:30~、3月2日(土)10:00~いずれか)事務局からの重要な説明があります。詳細は、講座の選考結果通知の際にお伝えいたします。

### <お申込み・お問い合わせ>

「なごや環境大学」実行委員会 事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ 13階

(名古屋市環境学習センター エコパルなごや内) ※毎週月曜日休み(祝日の場合は翌平日休み)

TEL/FAX 052-223-1223

E-mail jim@n-kd.jp

## 実行委員会の負担額について

### 1 実行委員会負担金の対象となる経費

- ・講師謝金、旅費交通費、会場使用料、機材借用料、印刷費、運搬費、通信費、消耗品費、人件費
- ・その他なごや環境大学実行委員会が必要と認めた経費

ただし、次の経費は除きます。

- ・備品購入費、事務管理費
- ・材料費、飲食費、保険料（左記は、受講料から徴収してください。）

なお、講座審査会前に支出した経費は、実行委員会負担金の対象とはなりません。

### 2 対象経費の内容、上限、対象外経費

「実行委員会の負担額」については、なごや環境大学実行委員会からの負担額の上限金額であり、開催規模（回数、参加人数等）を制限するものではありません。収支予算書には実際にかかる経費をご記入ください。

※1 コマあたりの実行委員会負担額は、積算方式ではなく、上限 30,000 円までです。

#### (1) 講師謝金

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインとなる講師への謝金を記入。</li> <li>・講師 3 人目からはスタッフ人件費として計上すること。</li> </ul>
提出書類 実行委員会 負担額	講師より発行された団体宛の領収証を添付すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 コマにつき、講師 1 人の場合上限 15,000 円</li> <li>・ 1 コマにつき、講師 2 人の場合上限 1 人 10,000 円、計 20,000 円</li> </ul> ※1 コマの時間が 5 時間を超える講座の場合、上記の 2 倍まで対象経費とする。 ※自己負担金により講師謝金を増額していただくことは差し支えありません。

#### (2) 講師交通費

内容	講師のための交通費を記入
提出書類	公共交通機関が発行する領収書または IC カードの利用履歴を印字したものを添付すること。 ※車両燃料費は (11) 講座準備金として計上してください。

#### (3) 会場使用料

内容	講座開催時の会場使用料
提出書類	使用する会場より発行された団体宛の領収証を添付すること。

#### (4) 機材借用料

内容	ビデオ・プロジェクター等の借用料 講座開催に必須の船・マイクロバス借用料
提出書類	機材借用先より発行された団体宛の領収証を添付すること。 自団体の構成員等からの機材借用料は計上不可

#### (5) 印刷費

内容	講座資料印刷代 講座広報用チラシ印刷代 受講者アンケート、報告書類印刷代
----	--------------------------------------------

提出書類	印刷業者等より発行された団体宛の領収証を添付すること。 ※なごや環境大学の講座に関わる事務報告書作成経費含む。
------	------------------------------------------------------------

#### (6) 運搬費

内容	・車でなければ運ぶことができない機材等の運搬費（レンタカー代） ・その駐車料金
提出書類	借用先及び駐車場業者等より発行された団体宛の領収証を添付すること。

#### (7) 通信費

内容	講座開催案内の送付（ハガキ、郵送代）
提出書類	郵便局及び宅配業者が発行した領収証を添付すること。 ※報告書類を事務局へ送付する経費含む。 ※電話代などは(11) 講座準備金として計上してください。

#### (8) 消耗品費

内容	事務用品（プリンタのインク等）
提出書類	事務用品購入先より発行された団体宛の領収証を添付すること。 インクや用紙は消耗品費で計上すること。 パソコンや机、椅子など備品的なものは対象外

#### (9) 人件費

内容	当日運営のためのスタッフ人件費
提出書類	スタッフより発行された団体宛の領収証を添付すること。 1 コマにつき、1 人上限 3,000 円 最大 3 人まで。 講師がスタッフを兼ねる場合は対象外

#### (10) 打合せにかかる経費

内容	打合せにかかるメンバーの交通費、会議室使用料等
提出書類	交通費：公共交通機関が発行する領収書または IC カードの利用履歴を印字したものを添付すること。 会議室使用料：使用する会議室より発行された団体宛の領収証を添付すること。

#### (11) 講座準備金

内容	講座の準備や運営において必要であり、かつ上記費目に当てはまらないもの 例：車両燃料費、携帯電話通話料、タクシー乗車賃等
提出書類	企画者団体が発行する証明書。※支払先発行の領収証は保管すること。 ・1 講座につき 10,000 円まで充てる事が出来る。

### 3 受講料について

- ・受益者負担の原則のため、原則として 1 コマにつき、1 人 300 円以上の受講料を徴収すること。
- ・材料費、飲食費及び保険料は、受講者から別途徴収すること。事務局への収支予算書提出時は、内訳を明示すること。
- ・原則として、受講料を無料又は 300 円未満に設定する場合は、「300 円(300 円未満は差額) ×延定員」を企画団体の自己負担金とする。(該当講座は、精算時に支出金額が実行委員会負担金以内であっても、自己負担金として計上すること。

【参考】SDGs について

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs は、国連が定める「持続可能な開発目標」のことです。

詳細は、国連広報センターのページをご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)



## 2019 年度前期

### なごや環境大学 共育講座 募集要項(企業・企業団体)

#### 1 共育講座募集の目的

なごや環境大学では「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目的として活動しています。

一人ひとりが地球環境問題を自分のこととして受け止め、「環境」をキーワードとしてひとりでも多くの方々に持続可能な社会や地域を考えるきっかけが必要です。共に学び、育ちあうための環境講座の応募をお待ちしております。

#### 2 募集講座

##### (1) 講座内容

テーマ	「身近な環境」から「地球環境」まで、環境に関する幅広い分野
受講対象	名古屋市内に在住/在勤/在学/活動中の方をはじめ、「環境」に関心がある方 (子どもから大人まで)
講座開催場所	名古屋市内およびその周辺(屋内・屋外を問いません。)
開催期間	2019年4月～2019年9月の間
講座形態	座学、フィールドワーク(体験/観察/調査など)、討論会、ワークショップなど講座形式不問 ☆企業のノウハウや資源をぜひ「共育講座」に活かしてください! (例)・環境対策・環境技術・CSR(社会的責任)などをテーマとした講座 ・所有されている現場の見学(店舗・工場・研究所・PR館)など
講座回数	1講座1コマ(回)から4コマ(回)程度
講座時間	講座1コマ(回)あたり90～120分程度を基本とする。

##### (2) 応募区分

応募区分	内容	募集講座数
一般枠	以下の7つの分野から、メインとなる1つを選択してください。 ①低炭素(エネルギー・気候変動) ②自然共生(生物多様性・気象・自然体験) ③資源循環(3R・ごみ問題・産業廃棄物) ④健康安全(食・暮らし・防災・安全) ⑤まちづくり(コンパクトシティ・交通・水) ⑥国際協力・多文化共生 ⑦人づくり(人材育成・スキルアップ)	25講座程度

### 3 応募要件

以下の要件をすべて満たす企業または企業団体(企業が主要な構成員となっているような社団法人や財団法人などを含む。)

(1) 「なごや環境大学」の趣旨に賛同し、「行動する市民・協働する市民」を共に育むパートナーになっていただくこと。

(2) 企業と市民団体がグループで応募することも可。ただし責任主体を明確にすること。

(3) 政治活動や宗教活動、営利活動を目的としないこと。

(特定の商品 PR のための活動ではないこと)

(4) 特定の国、団体、個人、企業に対し、違法・不当な誹謗、中傷を行わないこと。

(5) 実行委員会が定める規則等を遵守すること。

※バスツアー等を企画される場合は、旅行業法に抵触しないように十分ご注意ください。

### 4 応募方法

#### (1) 提出書類

以下、3点の書類を提出ください。様式1及び様式2については、なごや環境大学ウェブサイト (<https://www.n-kd.jp>) からダウンロードしてください。

① 様式1 なごや環境大学 共有講座 申請書

② 様式2 なごや環境大学 共有講座 企画書兼「なごや環境大学ガイドブック」原稿

③ 講座内容をアピールする写真データ 1枚ないし2枚(ファイル名を、写真の説明文(20文字以内)にしてください。)

#### (2) 募集締切

2018年11月30日(金) 必着

#### (3) 提出方法

電子メール [jimu@n-kd.jp](mailto:jimu@n-kd.jp) ※電子メールでの提出を基本とします。

※事務局で電子メールを受信した場合は、必ず受領の返信メールを送信します。送信後、3日以内に返信がない場合はお手数ですが、ご連絡ください。

※企画が採択され講座開催が決定した場合、提出された写真は企画書の内容とともに、「なごや環境大学ガイドブック」など、なごや環境大学やそれぞれの講座の PR に使用させていただきます。

※企画提案に伴う費用は、応募者の負担とします。

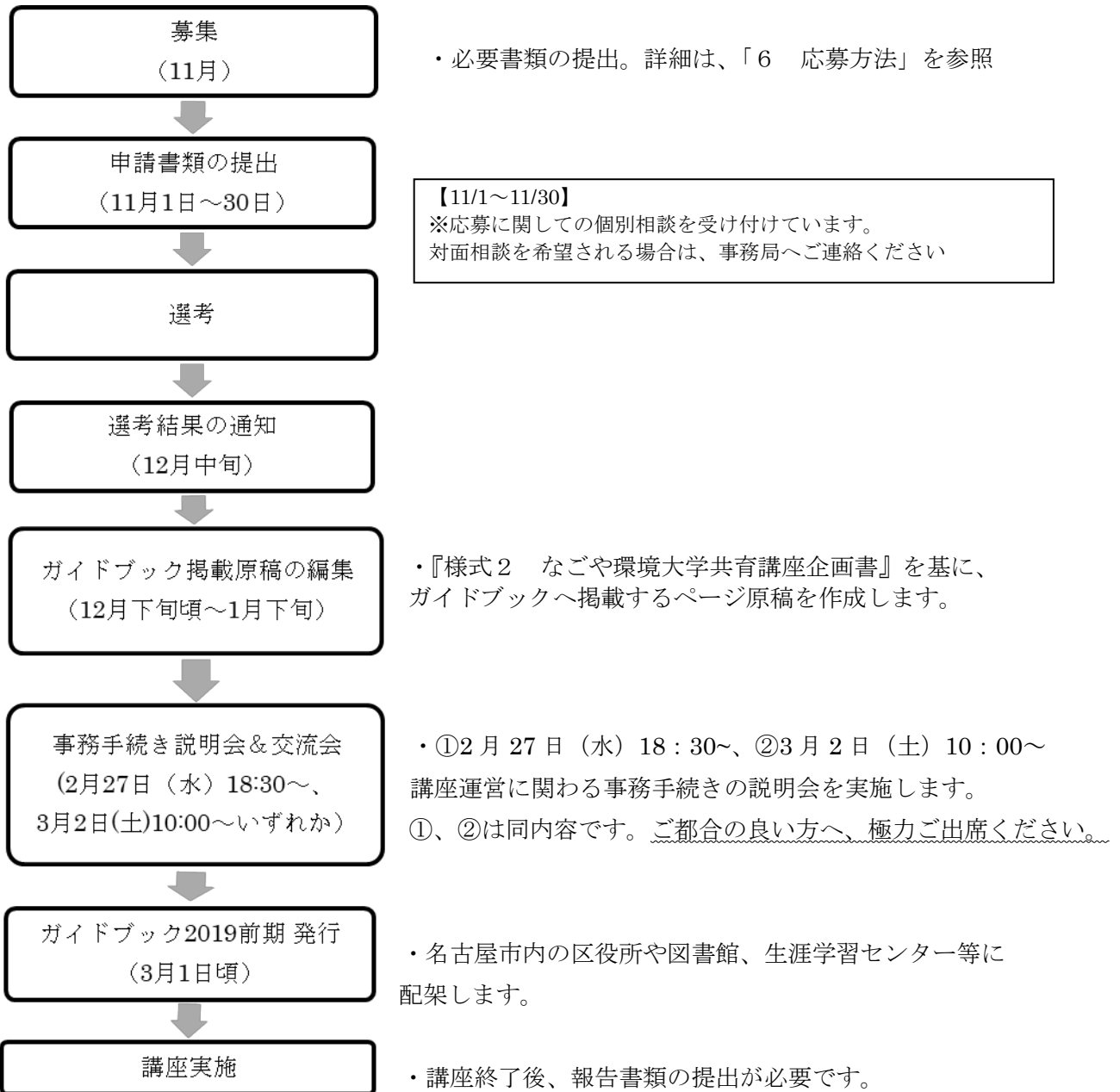
※提出書類は返還致しません。必ず控えを用意してください。

※提出書類にかかる著作権は応募者に帰属します。

## 5 募集から講座実施までの主な流れ

・なごや環境大学ウェブサイト(<http://www.n-kd.jp>)、広報なごや等により募集。

### 募集から講座実施までの主な流れ



## 6 事務手続き説明会&交流会

講座開催が決定した応募者は、事務局からの重要な説明がありますので、事務手続き説明会には極力ご出席ください。(2019年2月27日(水)18:30～、2019年3月2日(土)10:00～) 詳細は後日別途お伝えいたします。

### <お申込み・お問い合わせ>

「なごや環境大学」実行委員会 事務局 E-mail [jimu@n-kd.jp](mailto:jimu@n-kd.jp)

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階

(名古屋市環境学習センター エコパルなごや内) ※毎週月曜日休み(祝日の場合は翌平日休み)

TEL/FAX 052-223-1223

【参考】SDGsについて

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsは、国連が定める「持続可能な開発目標」のことです。

詳細は、国連広報センターのページをご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)